

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



日本ジオパーク認定証授与式の様子



あなたと議会を結ぶ
確かな情報と信頼

主な内容

議会構成	2・3
一般質問	4
委員会報告	5
各会計決算認定等	6・7
審議結果	8

総務常任委員会



原 秀男
木暮弘元
堀口博志
岡田武二
佐藤 博
島崎紘一

社会経済常任委員会



佐藤公夫
千野榮治
矢嶋榮一
高瀬政信
佐藤勇二
岩崎正春

議員役職一覧表

(平成23年9月15日現在)

議長 千野 榮治 副議長 原 秀男 監査委員 島崎 紘一													
氏名		木暮弘元	矢嶋榮一	原 秀男	岩崎正春	高瀬政信	佐藤勇二	千野榮治	島崎紘一	堀口博志	佐藤 博	岡田武二	佐藤公夫
● 委員長	◎ 副委員長	○ 委員											
委員会													
総務常任委員会		○		○					○	◎	●	○	
社会経済常任委員会			○		◎	●	○	○					○
議会運営委員会				○	◎	○				○	○	●	
予算決算特別委員会		○	○	○	○	◎	○	○	○	●	◎	○	○
広報発行対策特別委員会		◎	●	○		○					○	○	
少子高齢化対策特別委員会		○	◎				●		○	○	○		
委員会等													
下仁田南牧医療事務組合議員		○						○	○	○	○	○	
甘楽西部環境衛生施設組合議員			○	○	○		○	○					○
富岡甘楽広域市町村圏振興整備組合議員						○		○			○		
国民健康保険運営協議会委員			○			○	○						
簡易水道等運営委員会委員					○	○							○

一般質問

町政を問う

岩崎 正春議員



Q 防災対策・防災計画について

A 防災計画の見直し作業に入ったところ

議員 今の防災計画はいつ頃策定されたか。

総務課長 地域防災計画と震災対策計画は、平成10年11月に策定されたが、見直し作業に入ったところ。

議員 学校での対策・避難の基準は。

教育長 各小中学校では避難訓練等毎年3回実施しています。災害時の対応は平成21年2月に群馬県教育委員会が作成した学校災害マニュアルも活用し安全確保に努めている。

議員 避難場所に学校が指定されている現状で、家に帰さない方が安全な場合もあるので再検討

する必要がある。次に、ひとり暮らしや高齢者世帯への対応は。

総務課長 区長会や防災委員を通じて、有事の際はひとり暮らしや高齢者の方と一緒に避難できるように体制づくり、停電時等も防災計画のなかで検討したい。

議員 過疎、高齢者地域への対策と集落支援員について。

企画課長 集落支援委員が調査を行っており、道路の清掃や水源地管理が大変になってきているなど結果が上がってきている。

議員 放射線測定の結果は。
総務課長 保育園、学校、校庭、農地、畜産物、農産物等は群馬県が測定、学校校庭は町も簡易測定している。

Q 認定において下仁田ジオパークの評価点は

A 厳し目の評価票だが今後

議員 認定後の取り組みについて。

町長 関係機関のご協力により群馬県初の認定で、これを契機に地質や地層、あらゆる今まで町

の産業を含めて、観光的な誘客を図って、町の活性化に努めた

議員 町民との協力体制が大事だが対策は。

推進室長 申請時や審査時でもア

ピールした1番は自然学校の教育活動、2番目ジオパークサイトの確かな説明、3番目は地球活動の集約地、4番目は地域商品開発など地域の協力体制があることです。今は関連商品の開発、歴史、食、特にジオパークの恵みとして地域の活性化、来町者の増加につなげていきたい。

議員 スピード感を持って整備や対応が必要だ。

佐藤 博議員



Q 小学校統合後の跡地活用の対策について

A 具体的な検討は

議員 跡地活用対策の検討は。

教育課長 教育部局では具体的な検討には入っていません。

議員 町長部局ではどうか。

企画財政課長 検討に入っており

ません。

議員 統合を決定して3年が経過、なぜ検討しないのか。

町長 議会、全協、区長会等でアイデアはないか申し上げて3年になる。

議員 平成20年7月の教育委員会からの要望書はご存知か。

町長 何を指しての話か分かりかねます。

議員 教育長にお尋ねします。

教育長 教育委員会構想を実現するための具体的要望の4点目に、学校跡地の有効活用について、町民、識見者、町長部局、教育委員会部局など広範な方々による(仮称)学校跡地検討委員会を設立し、協議したいとあります。

議員 半年後には統合です、職務怠慢と言わざるを得ない。

町長 地域間で提言があれば議員筆頭に区長会で方向性を投げかけていただきたい。

議員 私が申し上げているのは正式な協議会です、協議会の設置の考えはないのか。

町長 地域の状況が違う、それぞれの問題がある。

議員 かぶら保育園の活用は。

福祉課長 ございませぬ。
議員 下仁田幼稚園跡地は。

議員 ジオパーク推進室長 教育委員会部局の倉庫として活用中。

議員 下仁田保育園と下仁田幼稚園の地代に係る経費は。

福祉課長 借地料は年間に117万円、町で支出している。

議員 早期に有効な活用は住民の願い、活性化に繋がる。

町長 私の考えはあります、議員の方々の先ずはご意見を拝聴したい。

議員 企業誘致の考えは。

町長 提案があれば検討する。

議員 各地区に支部組織、地域の意見を聴いて、理解の上での活用の決定が順序と思う、対策協議会の早期設置を。

町長 3年前から言っておりま

す、地域の方々の前向きな姿勢を提案してほしい。

議員 地域の方も考えがある。正式な機関としての設置を。

町長 地域から、先ずは声を挙げて頂きたい、タイムリミットも迫っております。

議員 無責任な発言と思う。地域と地域にあずけようとするならば決まらない。早急に対策協議会の設置を。

町長 再三、同じ回答です。

議員 設置の考えは無い、という解釈で質問を終わります。

委員会報告

総務常任委員会

陳情1件を審査

「日本政府が原発からの撤退を

決断し、原発をゼロにする期限を

決めたプログラムをつくることを

政府に求める意見書」の提出を求

める陳情書を審査

委員 福島原発事故で放射能の恐

ろしさを感じているが、原発廃

止後のエネルギー対策も考える

必要がある。

以上慎重審査の結果、全会一

致をもって趣旨採択とすべきも

のと決しました。

主な 質疑

Q 農業生産環境対策の内容は

A 町内3箇所の下仁田ネギの放

射能検査委託料です。コンニャ

クは県が検査をしている。町独

自では農産物などの線量計を備

える予定はない。

Q 公営企業を含めた町全体の起

債残高に占める過疎債の残高は

A 町全体の起債残高は70億2,

798万円で過疎債残高は18億

8,576万円です。

Q 乗り合いバスの運行を見直す

必要があるのではないかと

A 小学校の統合に伴い朝夕のス

クールバスを運行し、児童生徒

と一般の方の混乗をし、昼間の

時間帯は路線バス運行する検討

している。

Q 集落高齢者等タクシー券は好

評なので増やしては

A 22年度は82人980枚の利

用、今後検討していきたい。

予算関連 (全員でチェック)

予算決算特別委員会報告

議案17件を審査

補正関係

平成23年度一般会計補正予算(第2号)

平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

平成23年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

平成23年度浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)

平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)

平成23年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

(第1号)

平成23年度ガス事業会計補正予算(第1号)

以上8件を慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

平成22年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度水道事業会計決算認定

平成22年度ガス事業会計決算認定

以上9件を慎重審査の結果、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決しました。

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

歳出決算認定

決算関係

平成22年度一般会計歳入歳出決算認定

平成22年度国民健康保険歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

平成22年度老人保険特別会計歳入歳出決算認定

歳出決算認定

平成22年度

各会計決算を認定

平成22年度 会計別決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	62億9,527万	62億5,163万
国民健康保険	11億7,018万	11億509万
老人保健	20万	20万
後期高齢者医療	1億2,090万	1億2,087万
介護保険	11億965万	11億847万
簡易水道事業	1億1,379万	1億1,093万
浄化槽整備事業	4,460万	4,410万

最小の経費で最大の効果をチエツク

公営企業会計決算内訳

会計名	収入決算額	支出決算額	
水道事業	収益的収支	1億8,041万	1億6,903万
	資本的収支	7,766万	1億4,766万
ガス事業	収益的収支	1億3,969万	1億3,719万
	資本的収支	1,506万	3,705万

水道事業・ガス事業とも、資本的収入が資本的支出済額に対し不足する額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てんした。

▼歳出▼▼▼
 主な歳出は、教育費の17億9,331万円、民生費の10億4,035万円、28.7%、衛生費の8億8,385万円、14.1%、総務費7億6,110万円、下小校舎建設費6億8,062万円、中学校体育館建設費4億7,873万円、多目的運動場建設費2億2,345万円、保育所運営委託費1億8,920万円、公営住宅建設1億781万円、地デジ対策2,406万円等でした。

▼歳入▼▼▼
 主な歳入は、地方交付税22億7,899万円、町税9億5,798万円、国庫支出金9億8,333万円、町債が11億6,680万円でした。歳入未済額は、4,536万円、対前年比12%増加した。

歳入歳出差引額4,364万円
 平成22年度一般会計歳入決算額は62億9,527万円、前年対比118.0%、歳出決算額は62億5,163万円、前年対比119.3%でした。

一般会計の内訳

まちの財政は「健全」

財政健全化判断比率及び資金不足比率等が報告されました。健全化判断比率のうちのいずれかが早期健全化基準以上になった場合は、財政健全化計画を策定し、財政の健全化を図ることになります。

まちの22年度決算においては、いずれの数値も早期健全化基準などを下回っています。

1 健全化判断比率

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	12.3	86.4
(15.00)	(20.00)	(25.0)	(350.0)

備考 各比率の早期健全化基準は（ ）内に記載
実質赤字額がない場合「—」を記載

2 資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率（％）
水道事業	—
ガス事業	—
簡易水道事業	—
浄化槽整備事業	—

備考 資金不足がない場合「—」を記載

まちの借金（起債の額）

総額	70億2,798万円	町民一人当たり	約77万円
----	------------	---------	-------

まちの貯金（すべての基金の額）

総額	11億5,594万円	町民一人当たり	約12万円
----	------------	---------	-------

9,182人（人口：23年9月1日現在）

● 審 議 結 果 ●

平成 23 年 9 月定例会

議 案 名 答	審 議 結 果
専決処分を求めることについて（下仁田町税条例の一部を改正する条例）	全会一致
監査委員の選任について	全会一致
教育委員会委員の任命について	全会一致
下仁田町景観条例	全会一致
平成 23 年度下仁田町一般会計補正予算（第 2 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 1 号）	全会一致
平成 23 年度下仁田町水道事業会計補正予算（第 1 号）	賛成多数
平成 23 年度下仁田町ガス事業会計補正予算（第 1 号）	賛成多数
平成 22 年度下仁田町一般会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町水道事業会計決算認定について	全会一致
平成 22 年度下仁田町ガス事業会計決算認定について	賛成多数
予算決算特別委員会設置に関する決議	全会一致
広報発行対策特別委員会設置に関する決議	全会一致
少子高齢化対策特別委員会設置に関する決議	全会一致

編集室から

選挙後、間もなく定例会が開催され、まず正副議長選挙、常任委員、各運営委員の選任が行われました。

議案として、23年度の補正予算、22年度の決算認定等の審議がされた。

下仁田ジオパークも日本ジオパークの認定を受けて、地質の宝庫である下仁田町をいかに観光の目玉として、経済的効果を生計っていくことが急務と思われれます。下仁田町が活性化されるように、町民と共に考えていかななくてはなりません。

今が一番大事な時です！

今回は平成23年第3回定例会の主な内容について編集しました。

内容については、分かりやすい編集を心がけておりますが、ご意見等をお寄せ下さい。

矢嶋榮一

広報発行特別委員会
委員長 矢嶋榮一
副委員長 木暮弘元
委員 原 秀男
委員 高瀬政信
委員 佐藤 博
委員 岡田武二



議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.gunma.jp/>

問い合わせ先：電話82-2111（内線610番）